

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
芸術	書道 I	1	2	選択必修

到達目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と基礎的な能力を伸ばす。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	オリエンテーション 文字の成り立ち 細字（楷書） 楷書	年間を通じて、鑑賞レポートが課される。 制作に用いる用具（大筆、小筆、墨、硯等）の基本的な使い方を学ぶ。	
1学期期末	篆書 篆刻	印の歴史的な役割を学び、自分の落款印を制作する。これは、今後の作品に使用していく。	
2学期中間	楷書 倣書作品 生活の中の書（ステンシル作品） 行書	古典というものに初めて接し、古来より尊重されてきたさまざまな美しい書の表現を学ぶ。 生活の中で見られる筆文字を探してこることが課される。生活の中での書の役割について学ぶ。	
2学期期末	干支作品 カレンダー作品 折り染め	濃墨、淡墨の使い分けや線の表情について学び、それを作品に応用させる。 表具をするなど、作品を完成させる方法、紙の性質についても同時に学ぶ。	
学年末	漢字仮名まじり文 ラミネート作品 鑑賞会 細字（仮名）	一年間学んできたことをまとめる意味での作品づくりをする。身近にある物を用いて、生活の中で活かせる書作品を目指す。	

評価方法と 評価のポイント	出欠状況、準備物の有無、提出課題によって評価する。作品に誠実に取り組み、振り返り、表現力を高められているかがポイント。出席し、提出物を必ず提出すること。
--------------------------	--

教科からのアドバイス	書道用具（大筆、小筆、墨、筆巻き）については、高等学校での芸術を学ぶにふさわしいものを準備する。
-------------------	--